

2026 年度 茨城キリスト教大学大学院

看護学研究科 看護学専攻

Ⅱ期 入学試験

小論文 試験問題

試験時間：13 時 45 分～15 時 15 分（90 分）

〔注意事項〕

1. 試験監督者から「開始」の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答をはじめる前に、必ず解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 試験内容に関する質問は受けつけません。問題用紙はこの表紙を除いて 3 枚、解答用紙は 3 枚です。
また、下書き用の原稿用紙 3 枚が入っています。
印刷上の不備があった場合などは、手をあげて監督者に知らせてください。
4. 試験中に気分が悪くなったときなどは、手をあげて監督者に知らせてください。
5. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は全て回収します。持ち帰らないでください。

2026 年度 茨城キリスト教大学大学院 看護学研究科看護学専攻
Ⅱ期入学試験問題 小論文 問題用紙

問 下の文章は「サイエンスとしての医療とケアとしての医療」と題して書かれた文章の一部です。文章を読み、各設問に答えなさい。

著作権の関係により、問題文は掲載できません。

※) EBM: Evidence based medicine

〈出典〉広井良典著：ケア学—逆境するケアへ。pp. 61-64, 医学書院, 2000. より一部改変

設問 1 問題文を読み、現代医療において「モダン」の流れと「ポストモダン」の流れがどのように交錯しているか、著者の見解を 250 字以内で要約しなさい。

設問 2 あなたが志望する研究領域、またはこれまでの経験において、「モダン」と、「ポストモダン」が交錯することで、どのような問題が生じていると考えますか。その問題に対して、あなたは大学院での学修や研究を通じてどのように向き合いたいと考えているか、800 字以内で述べなさい。

【解答例】

論述形式で回答を求めているため、解答例を提示することはできません。

解答のポイントとして、評価基準を以下に示します。

- ・理解力・要約力
- ・論旨の明確さ（構成）
- ・文章表現力（文字数）
- ・文章表現力（表現の正確さ）
- ・説得力・問題解決力